

会派代表質問

未来へつなぐ住みたい街づくりを目指して

公明党

引間 真理子 議員



問 子宮頸がんキャッチアップ接種について、無料で受けられる期限内に接種するには9月までに1回目を打つ必要があり、その周知について

答 平成25年6月から令和4年3月までに接種の機会を逃した方については、公平な接種機会を提供するための周知として、対象者全員に個別に案内文を送付しております。

問 がん患者アピアランスケア支援事業について

アピアランスとは、外見を示す言葉で、千葉県ではがん治療に伴い、医療用補整具、医療用ウィッグ等の補助を行っております。外見の変化を補い、患者さんの苦痛を軽減し、社会参加を後押しする手助けになります。治療と仕事の両立、社会生活を送っていく上で極めて重要なケアで、患者に寄り添った支援が必要です。

答 アピアランスケアにつきましては治療の過程において、患者さんが負った心理的、経済的な負担の軽減と社会参加や生活の質の向上を図るもので、患者さんにとって自分らしく、生活を送るための一助になるものと認識しております。今後、アピアランスケアに関連する助成内容等につきましては、先進例や近隣自治体の動向を注視しながら検討してまいりますと考えております。

問 救急相談電話の周知について、#7119は消防職員ではなく医療や看護師、トレーニングを受けた相談員が対応し、緊急性の判断や応急処置、受診のタイミングを助言し、要望に応じて医療機関の案内をするそうです。軽症者の救急車利用を抑え、重症者へ優先的に回す狙いもあり、救急車が不要に出勤する機会が減り、適切な利用につながります。

引間 真理子 議員



積極的な周知が必要だと思えます。

答 市といたしましてはこの救急安心電話相談について市ホームページ、広報紙、大網病院でのチラシ配布、ふれあいいきいきサロンでの講話などを通じ救急車の適正利用を呼びかけてまいりますと考えております。

問 3歳児の法定健診以降、就学時健診までは健診がないので、5歳児健診の実施は必要だと思えます。

答 5歳児健康診査は、発達の問題が認知される時期である5歳児を対象として、身体発育状況や精神発達の状態、生活習慣の自立や社会性の発達などを確認する健診として、こども家庭庁が、実施マニュアルを作成する予定となっております。参考として医師会など関係医療機関と連携して検討してまいりますと考えております。

問 児童虐待の現状と課題について

答 相談、通報で虐待に関する件数令和3年度が69件、令和4年度が76件、令和5年度1月末現在62件、内容は暴言や差別的扱い等の心理的虐待が25件と一番多く、続いて、身体的虐待が3件とされており、こども家庭相談室を設置、地域協議会において、課題や支援方法の検討、関係機関が役割に合った対応が取れるよう調整を行っております。

その他、幼稚園、保育所に通っていない未就園児の把握について、児童虐待防止への連携強化と、今後の取組について、コロナワクチンの定期接種、接種費用の補助について、在住外国人への防災情報周知について質問いたしました。

関連質問

上代 和利 議員



問 福祉避難所について

答 福祉避難所は、高齢者や障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する方など「要配慮者」を滞在させる避難所です。市の災害時における福祉避難所については、中央公民館、保健文化センター、大網白里アリーナ、中部コミュニティセンター、白里公民館、県立大網白里特別支援学校の6つの施設等を指定している他、高齢者施設などの23施設と福祉避難所の協定を締結しています。

災害時における福祉避難所の重要性を強く認識し、今後も関係課と連携し、必要に応じて関係施設との協定など、福祉避難所の確保に努めていきたいと考えています。

問 ライフライン(水、電気、ガス)の緊急時対応について

答 市では災害によりライフラインが寸断された場合に備え、食料や水などの他に、発電機やプロパンガスなどを備蓄しています。数に限りがあることから、市民それぞれが自身に必要なものや食料、水などを蓄えていただくようお願いしているところです。ライフラインの復旧対策については、長期停電における対応策として、東京電力の連絡調整員を通じ、情報共有を密にし、迅速な復旧作業に努める他、停電の原因となる倒木の発生を未然に防ぐため、市道沿い市有地の伐採を行うこととしております。これらのライフラインの復旧に当たっては、発災直後から応急活動を迅速かつ的確に行えるよう市内外の複数の関連事業者と災害協定を締結するなど、早期復旧が図られるよう体制整備に努めています。

その他、防災・減災対策で2問、空き家対策について、農業振興についてを質問させていただきました。

関連質問

輪島 美津江 議員



○防災・減災対策について

問 本年、元日の能登半島地震は私達に大きな衝撃をもたらしました。昨年9月には、本市でも記録的大雨による多大な被害がありました。そこで、避難所における生活環境の確保と整備について伺います。

答 避難所運営に係る物資の備蓄状況は、床に敷くロールマット1メートル×20メートルが250本、間仕切りテントは高さ120センチメートルが100張、高さ180センチメートルが70張で、災害時におけるトイレは、備蓄している組立て式仮設トイレ36基、パイプ折り畳み式簡易トイレ45基の他、ユニットハウスの仮設トイレの供給を受ける協定の民間企業と締結するなど、災害時のトイレ確保に努めています。なお、保管場所は、大網白里アリーナの備蓄倉庫や旧大網小学校などに保管しています。

問 避難所の情報入手手段としてWiFi状況や携帯電話などの充電手段の確保について伺います。

答 WiFiの整備状況については、整備費の他、インターネット回線が経常的に必要となることから、WiFi機能付き自動販売機を活用した整備を行い、大網白里アリーナや農村ふれあいセンターなど5か所に設置している状況です。

また、災害時には通信会社へ要請する事で携帯電話の充電器やWiFiの提供を受けられる他、一般電話が繋がりにくい状態時の発信のみ優先扱いとなる災害時優先電話を各避難所に整備します。

携帯電話の充電については、各避難所に配備する発電機により充電スペースを設け対応します。

個人質問

津波避難施設整備計画は当初の整備方針を変更し、終了したのか?

黒須 俊隆 議員



問 本市では平成27年、津波避難施設整備計画と津波避難計画を策定した。これに基づいて津波避難施設をこれまで整備してきた。津波避難施設整備計画では、津波避難タワーあるいは築山などの高台を新たに4か所造る計画だったが、2つしかできていない。整備方針はどのようになっているか。

答 現在、残る2か所の高台につきましては、市の財政状況等を勘案しながら、タワーでの整備とする方針にしたところであります。

問 その後、津波避難ビルが2か所整備されている。

津波避難ビルを津波避難タワーの代用とするつもりなのか。

答 プラセル九十九里につきましては平成23年9月に、オーシャンビュー白里ダイヤモンドマンションにつきましては平成24年7月に津波避難ビルの協定を締結しています。そのほか津波避難施設整備計画に基づいて津波避難の施設の整備をしているところあります。

問 津波避難ビルは残りの2つの高台ができるまでの代用で当面の措置としての位置づけなのか。

答 ダイヤモンドマンション、プラセル九十九里につきましては、東日本大震災後に津波避難ビルとして協定を締結し、平成27年8月に作成した津波避難施設整備計画においても津波避難施設としていることから、市といたしましては、恒常的に利用する津波避難施設として考えております。

問 津波避難施設整備計画では、津波避難ビルのプラセル九十九里とダイヤモンドマンションに加え、新たに造る築山、タワー4か所と合わせ

て6か所の高台で白里地域が半径750メートルの円の中にすべて入るよう計画されている。2か所足りない避難困難地域が出てくるのではないかと。南今泉、北今泉地域に整備する予定だった津波避難施設が当面できない中で、ダイヤモンドマンションとプラセル九十九里の位置づけが強化されたことはあるのか。

答 平成27年8月に策定しました津波避難施設整備計画において、特に変更点はございません。

問 6つの高台で計画されていたものが財政難で4つしかできていない。そこで津波避難ビルに手すりをつけるなどを行い、津波避難施設としての位置づけを強化して、当面は4つの施設で避難計画を進める方針に変更になったのではないのか。

答 ダイヤモンドマンションとプラセル九十九里に対しては、手すりや階段等設置した経緯につきまして、避難者が災害時に迅速に避難できるよう、避難しやすき状況を構築するために整備したものです。

残りの2つの高台の整備方針や津波避難ビルの位置づけが変わったわけではありません。

問 残りの津波避難タワーはいつできるのか。10年前の道の駅整備計画は津波対策などの財政負担により中止になった経緯があるが、現在新たに道の駅整備を進めており、津波対策はもう完了したと考えているのではないのか。

答 高台の整備につきましては、直ちに整備するのは難しいことと思えますが、方針には変わりはないと思います。建設に向けて取り組んでまいりたいと考えております。